

「元服」

おはようございます。

この「元服」は、七五三のお祝いと同じように、昔の日本の風習で、数え 15 歳の少年は、元服というお祝いをしました。これは、一人前の男として重要な責任と義務を負い、社会の仲間入りを果たす年令を意味します。

さて、昨日は、墨田区役所内にある「すみだリバーサイドホール」で「すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム」が開催されました。会場には、大人ばかり約 1, 0 0 0 人近い区民が観客として参加しました。そのボランティアフォーラムでは、墨田区の行政や民間で現在行われているボランティア活動に関して、どのように進めているのか、また、どのような課題があるか、その課題をどのように解決するかということパネルディスカッション形式で話し合いました。舞台上には、司会者を含め九名のパネリストがあがり、唯一墨田区内の中学生の代表として本校の生徒会長である鳥海銀河君が参加しました。昨年度、本校で墨田区内 1 2 校の生徒会役員が集まって開催した「墨田区中学校生徒会サミット」で福祉やボランティアなどの件が話し合われたことから代表として選ばれました。鳥海君は、大人ばかりの中に加わってのパネラーとして相当緊張したと思いますが、司会者からの質問に堂々とした態度で答えている姿は、まさしく元服して一人前となった大人を感じさせてくれました。私は、墨田区の中学生の代表としてまた、向中の代表として大変名誉なことだと感じました。

日本は 3 月 1 1 日の東日本大震災以降、ボランティア活動の必要性や思いやる心の大切さが一層叫ばれるようになりました。墨田区でも「つなげよう やさしいまちをつくる力」と題して、大人も子どももいっしょになって助け合うことに取り組んでいます。皆さんも、駅前の清掃活動や障害者体験など、本校でも進めている「はーとふる活動」をきっかけとして、夏休みボランティア活動にも積極的に参加してください。さらに、高校生や大学生そして大人になってもその精神を忘れずに、自分の意思でボランティア活動に参加してください。

最後に、本校も節電に取り組んでいます。先週、誰もいない教室のエアコンが付けっぱなしであったり、蛍光灯がついたままになっていたりとあると副校長先生から報告を受けました。大人も子どももみんなが節電することを実践しなければ、この暑い夏を乗り切ることはできません。個人のががままを優先しないで、全員がボランティアの精神をもって日本全体のことを考えて行動しましょう。